



馬の学校

馬の学校通信

2002. 12 vol.8



発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6832-8455

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www1.u-netsurf.ne.jp/~mine/



秋のプログラム 活動報告



ファミリープログラム (10/27、11/10)

10月はほんの少し雨が降りましたが、11月は前日が雪だったにもかかわらずぽかぽか陽気で、紅葉を見ながらのプログラムとなりました。



きれいにしてあげようね



上手でしょ？



先生と一緒に大丈夫



こんにちは！



おいしかったよ



みんなで協力しました

馬とのふれあいプログラム (10/20・11/16、17)

11/17は初めて幼児プログラム(4~5歳)を行いました。ポニーといえども子どもたちにとっては大きな動物。ちょっぴりどきどきしながらも、次第に仲良くなっていきました。



進めの合図を出したよ



はやく行こう！



食べてくれたよ！



よろしくね



パズルにも挑戦



ちょっぴりドキドキ

2002年活動報告



- 3月23~26日 ウマキャンプ (清里)
- 4月 5日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 4月27日 ファミリープログラム (和知)
- 7月25~28日 ウマキャンプ (清里)
- 8月 6~ 8日 ウマキャンプ (清里)
- 8月13~15日 ファミリープログラム (清里)
- 10月20日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 10月27日 ファミリープログラム (和知)
- 11月10日 ファミリープログラム (和知)
- 11月16日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 11月17日 馬とのふれあいプログラム (服部)

- *来年は春休み(ウマキャンプ)からスタート予定です*
- 3月 9日 奈良ワイズメンズクラブ例会にて卓話
 - 1月 8日 読売新聞・月刊「OH!ねっと」掲載
 - 6月27日 池田市・働く婦人の家にて講演
 - 9月 7日 大阪教育大学・夏期集中講義にて話をする
 - 9月11日 大阪リハビリテーション専門学校にて特別講義

会費制導入のお知らせ



馬の学校も来年には4年目を迎えます。少しずつ回数も増え、参加者ものべ150名を越えました。(みなさん、ありがとうございます!)それに伴い、通信発行等の事務経費もかさむようになってきました。

そこで、来年度より会費制にし、より充実した活動を行っていきたく考えています。詳しくは次号でお知らせする予定ですので、ご協力の程よろしく願いいたします。





「ウマコンテスト」開催！



馬の学校では、馬や馬とのふれあいをテーマにした作文と絵を募集しています。応募者全員に記念品を差し上げますので、ふるってご応募下さい！

① 作文 400字以上 2000字以下

原稿用紙に手書きか、ワープロを使用

② 絵 B4以内の大きさの画用紙を使用・画材は自由

対象：子どもから大人まで、どなたでも

賞品：作文・絵それぞれ優秀な作品1点ずつに、馬グッズをプレゼント

応募先：馬の学校事務局（住所・氏名・年齢・電話番号を明記）

締切り：2003年5月31日 結果発表：2003年7月上旬

*応募作品は返却いたしません*応募作品の著作権は馬の学校に帰属します*

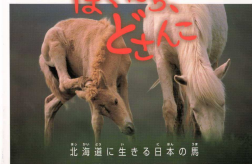


おすすめの本



『ぼくたち、どさんこ』 著者：佐久間陽三

文芸社



子どもたちにも分かりやすい写真と文章で、どさんこの親子の一年が説明されています。

子馬たちの無邪気な姿や、母馬の素朴な愛情表現などが北海道の大自然の中でとらえられています。もちろん、大人も楽しめます。

(どさんこ・・・日本に昔からいる馬の種類)

おうまの教室

うまのとき 馬に乗る時に
うまのせなかの 馬の背中に乗せるものはなあに？

メリー-クリスマス！



うまのとき くら とうく つか くら しゅるい
馬に乗る時には、鞍という道具を使います。鞍にはいろいろな種類があります。

プリティッシュスタイル

ウェスタンスタイル

けいじょうあん
軽乗鞍

けいじょうあん つかのとき
軽乗鞍を使う時は、
うまのせなかの毛布を
しいて乗ります。
あふみはありません。
うまのあたたかさが
よく伝わってきて
気持ちがいいです。



あふみ
足をいれるところ



うまからくら
馬の体に鞍をつける時は
はらおび
腹帯をつかいます。



編集後記

あっという間に2002年も終わろうとしています。今年も馬の学校のプログラムを全て無事に終えることができました。この秋は、予定していたプログラム以外にも、9月の特別講義で知り合った作業療法士や保育士の先生方のご紹介で、追加プログラムを行いました。ファミリープログラムでは、先生と一緒に乗ってから1人で乗れるようになったりと、馬と子どもたちの間に入る人の重要性を改めて感じました。また、ふれあいプログラムでは初めて幼児対象で行いましたが、それぞれのペースでボニーと仲良くなることができました。今年は昨年以上に多くの方にボランティアとしてお手伝いいただき、そのことがプログラムを増やしていくことにもつながりました。馬の学校にとって欠かすことのできないボランティアの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。来年は新しいプログラムも検討中で、さらに充実した活動を行っていきたくと思っています。皆様どうぞよいお年をお迎えください。

(峯崎 友香理)

